

《定時制だより》

“人定で学んで成長し、地域を支え、日本を支える有為な人材となる”

今年度は、コロナ禍(7月豪雨被災もありました)で定通体育大会や定通文化大会、企業訪問研修など大きな行事が中止となった中、人定の生徒(在籍21名)は元気に困難を乗り越えていきました。少人数を強みとして、一つ一つの教育活動を充実させながらも、「人定 MyRevo プロジェクト」のような新たな取組にも挑戦してきました。その一環で実施した地元理解研修では、人吉市内の被災店舗や事業所を訪問し、地域人材としてどう関わっていくかを学んだり、復旧のお手伝いを生徒・職員全員で取り組んだりしました。花き生産者支援も兼ねたフラワーBOX作りにも挑戦し、成果物は仮設住宅や被災店舗に届けて、お返しにたくさんの笑顔をいただきました。夜の文化祭である「人定祭」では、各種展示、販売実習、そして伝統の人定太鼓に取り組みました。フィナーレは生徒・職員全員での手話コーラス「世界で1つだけの花」を披露し、生徒・職員の絆をさらに固いものとなりました。学習面では、今年度新たに「ICT活用授業」をテーマに公開授業や研究授業に取り組み、生徒の学力向上だけでなく、実社会で活躍するための力が身につけられるよう努めています。

(文責:加藤郁子 人高26回生)



定時制活動の様子は、人吉高校HPの定時制メニューの「楽しくNight」サイトに。右記のQRコードからどうぞ。



《五木分校だより》

学校再開 臨時休校中の学習

←Microsoft Forms (画面)



新型コロナウイルス感染防止のため、3月2日から休校が続いたため、生徒たちへの学習支援方法を全職員で考え、新しい授業スタイルを実践することになりました。

まずは、すべての授業をビデオカメラで録画しDVDに収録、全生徒にいきわたるようにそれを配付しました。その量は一人一週間で約4枚、3週間で10枚の量となりましたが、生徒のみなさんは各家庭でそのDVDの録画授業とプリントを利用して学習に励み、毎時間ごとマイクロソフトフォームズというツールを使用して確認テストに解答するなど、ICTを利用した学習を5月いっぱい続けました。生徒たちは家庭で積極的に学習に取り組みながら、規則正しい生活を送ることに励んだ1か月間でした。

第8回五木村保小中高

合同大運動会 開催

9月13日(日)、第8回五木村保小中高合同大運動会が開催されました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、毎年5月に行われていた運動会が9月に延期となり、さらに雨天のため一日遅れとなりましたが、当日は晴天に恵まれ実施することができました。「向上～燃えあがれ 我らの五木魂」のスローガンの下、高校生としてリーダーシップを発揮し、すべての競技に全力で取り組み大成功を収めることができました。

(文責:小森田親学 人高46回生)

以下、今年度優勝した赤団団長の井上朝輝くんのコメントです。



「合同運動会は、これまで負けっぱなしで今年も負けるかもと思っていただけ、優勝することができ嬉しかったです。最高のメンバーと最高の天気にも恵まれてきたことはいい思い出になりました。」



伝統のカラーガードも大成功!!

編集後記

今回の同窓会会報作成にあたり、御協力をいただきました学校、同窓会、関係者各位に厚く御礼申し上げます。

この会報は平成10年3月に創刊号が出され、これまで5年に1度のペースで発行されてきました。最近では平成29年3月に第6号が発行されています。今回の第7号の発行を手始めに、今後は年に1度の発行を継続し、学校や各職月会の様子、会員の皆様の声、創立100周年の準備状況等を発信し、100周年に向けて機運を高めていければと考えています。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご活躍を祈念いたしますとともに、創立100周年記念事業の成功と母校のさらなる発展のために今後とも御協力をよろしくお願いいたします

(編集委員)

右田木郎 人高37回生

齊藤由佳 人高34回生